



# くすっ子

《花いっぱい 夢いっぱい 笑顔いっぱい 屈巢小》

鴻巣市立屈巢小学校  
学校だより  
令和4年5月2日  
No. 2



## 「待つ、見届ける」が、子どもの安心感へ

校長 諏訪 けん

木々の若芽が眼に心地よい色合いとなり、ツバメが飛来する季節になりました。屈巢周辺の景色の変化が、毎年変わりなく訪れる自然の偉大さを感じさせてくれます。

さて、あっという間に4月が終わりました。1年生もだいぶ学校生活に慣れてきました。しかしながら、まだまだ要領を得ず、うまくいかないこともあるかと思います。そういう時は、私たち大人が数回深呼吸をして、おおらかな気持ちで「子どもを待つ」ことが大事になります。4月は、私も登校後の1年生の教室に入り、荷物の整理や名札つけなどの朝のルーティンが定着するように、担任の先生の補助をしてきました。日にちが経つにつれて自分でできるようになる姿をみると「待つこと」の大切さを実感します。

真の自立を促すためには、うまくいかないことを経験させることも必要です。失敗してどうしたらよいか自ら考え、また試してみる。それが大いに許されるのが、子ども時代なのだと思います。できるようになるまでには、「時間がかかる」と心の中でつぶやき、私たちが「待つ、見届ける」ことで、子どもは安心するのだと思います。ついつい、大人（家族や先生）が手を出してしまっていないか……。今一度、振り返りたいと思います。

.....

### 第1横断の交通指導員さんを募集しております

第一横断（宮坂医院そばの横断歩道）で、14年間ほぼ毎日子どもたちの安全を見守ってくださった交通指導員さんが、勇退されました。現在は、本校職員と立哨当番の保護者の方で、朝の登校指導をしております。できれば、後任の交通指導員さんを地域の方にお願ひできればと思っております。ご協力いただける方のご連絡を心よりお待ちしておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



また、下校時は子ども達だけで、信号機のない大きな道路を横断している状況もあります。学校での安全指導も行っておりますが、ご家庭でも安全な道路の横断（確実な左右の安全確認）について、繰り返しお声がけください。「慣れ」が思わぬ事故につながります。

### 新型コロナウイルス感染症予防の基本「みけまてお3（さん）」

本校における基本的な感染症予防対策の習慣化を図るための合言葉を昨年度より普及しています。そのキャラクターが、左図の「みけまてお3（さん）」です。昨年度に引き続き、学校における感染症対策にご理解とご協力を賜りますよう、お願いいたします。



GW 連休中に、体調の変化や事故があった際は、連絡フォーム（4月28日配信済）でお知らせください。